

書名 項目	<h1>新編 新しい道徳</h1>	2 東 書
内 容	<p> ＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞ ・内容項目は、各学年においてすべて取り上げている。 ・物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情等を育むよう配慮 </p> <p> ＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞ ・「いじめ防止」「生命の尊重」をユニットとして3つの教材を組み合わせ、全学年で重点的に取り扱い ・教材やコラムの中で、現代的な課題を積極的に取り上げている 巻末の教材一覧で、関連する主なテーマとして、現代的な課題への対応を一覧できる </p> <p> ＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞ ・「ぐっと深める」で、設問「考えよう」「見つめよう」を深く掘り下げる ・学年間連携を意識した学習が可能である ・付録「小学校」小学校道徳で学習した教材が付録されている </p> <p> ＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞ ・生徒が自分で問を立てて、みんなで話し合いながら考える活動を設定 ・防災を題材とした教材で道徳的判断力を養う ・人物（困難を乗り越えて活躍する人、偉人）など身近な人にスポットを当てている教材 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・長く親しまれている教材を充実（自我関与し、心の動きを追う） ・イメージを広げる絵や写真が掲載されており、理解を促す工夫がされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・本文書体は視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用 ・中学生にとって読みやすく平易な文章 ・小学校で学習する、小学校で学習する漢字以外の全ての漢字にふりがなを付し教材理解が円滑に進むよう配慮 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・教材と関連したテーマをより深く広く考えられるよう、発達の段階に応じた内容で、日常生活や他教科と関連づけて生かせるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1>中学道徳 とびだそう未来へ</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p> ＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞ ・学習指導要領の4つの視点のどれに該当するか、各教材にマークが付いている。 ・教材の冒頭に「導入」の問いが設けられ、教材を通して考える道徳的価値を意識づけられるようになっている。 </p> <p> ＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞ ・SDGsについて理解できるようなページや教材が含まれている。 ・災害や防災を題材とした教材が掲載され、安全への意識を向上させることができる工夫がみられる。 </p> <p> ＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞ ・教材の末の「学びの道しるべ」に三つの問いがあり、段階的に考えを深めることができるようになっている。 ・考えをまとめる際に、図や絵などで表現する方法も示唆している。 </p> <p> ＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞ ・生徒の身のまわりに実際に起こりそうな状況を題材としている。 (いじめ・高齢者・スマホ・障害者・災害・ジェンダー・SDGsなど) ・はじめにマンガや絵本のページがあり、その内容について話し合うことを通して、その後の授業での話し合いのポイントをおさえることができる。 ・登場人物が判断を迫られる場面が中心となっている教材が多い。 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題・多様性の尊重に関わる教材と、先人たちの活躍や挑戦を取り上げた教材、定番教材など、幅広い内容を取り上げている。 ・各学年35教材を掲載している。 ・マンガ、絵本、写真などを掲載し、視覚的に興味・関心を喚起する工夫をしている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に応じた大きさの文字で、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・言葉のまとまりを捉えやすくするために、改行位置を配慮した部分がある。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・B5で持ちやすい。 ・挿絵に癖がなく、色合いも中間色が多くて優しい。 ・ねらいとする道徳的価値について学べるよう「学びの道しるべ」が設けられている。 	

書名 項目	中学道徳 きみがいちばんひかるとき	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ・対話を重視し、多面的・多角的な見方で道徳的価値について考えていく学習であることを明示している。 ・自分に引き寄せて考えたり、見方を変えて問題を解決するために話し合ったりするなど、生き方についての考えを深め、多面的・多角的に考えられる内容となっている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ・いじめについてじっくり考えられるように全学年に「いじめを許さない心について考えるユニットを設けている。」 ・情報モラルやキャリア教育についても教材が掲載しており、生徒が自己の生き方について考えられるようになっている。 </p> <p> <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ・ねらいを達成するために「チャレンジ問いを立てよう」というてびきが用意されている。 ・小学校との関連や学年間での連携を意識した教材が扱われている。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ・話し合いを通して、身の回りの当たり前を問い直し、新たな考えを生み出すことができるよう工夫されている。 ・対話を通して問題を解決するための段階を示し、考えが深められるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚特性をもつ生徒に配慮した紙面となっている。 ・全ての児童が使いやすくわかりやすい教科書であるために、ユニバーサルデザインの観点からの配慮がされている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生以上配当の常用漢字すべてに振り仮名を付している。 ・特別支援教育（弱視、学習のユニバーサルデザイン、外国人児童生徒等教育）の専門家の校閲を受けており、読みやすさ、分かりやすさの配慮が行き届いている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方を変えて」や「つなげよう」で他教科や日常生活に関連付け、自分事として考えられるよう工夫されている。 ・生徒が自ら問いを立て、考える教材が設けられており、協働的な学びが実現できるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1>中学道徳 あすを生きる</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ・資質・能力の「三つの柱」を踏まえ、道徳科の目標である道徳性の育成に資するよう、生徒の心身の発達段階や特性、学校や地域の実態を考慮して指導できるように配慮されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ・全ての学年で「多様性の尊重」に関わる教材を掲載し、人権教育、相互理解に関わる内容について、意識を高められるよう工夫されている。 ・「いじめ問題」「情報モラル」「防災」に関する教材を複数配置し、考える機会を設けることで一人一人が自分事として捉えられるよう工夫されている。 </p> <p> <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ・中学校3年間の発達の段階を考慮し、系統的・発展的に学習できるよう各学年のテーマを設定している。 1年…（自己理解の深化、自尊感情の育成） 2年…（社会参画の意識と自己有用感の育成） 3年…（公共の精神や国際社会への意識、誇りと志のある生き方） </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ・話合いの手法を示した教材を掲載し、「考え、議論する道徳」が実現できるよう工夫されている。 ・「学びを深めよう」のページでは、問題解決的な学習を通して、考えを深めることができるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の観点、ユニバーサルデザインへの配慮がされている。 ・教材の場面理解を促す様々な挿絵や写真が豊富に掲載されている。 	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学ぶ常用漢字には振り仮名がついている。 ・やや難解な語句や、教材の読み取りに必要な補足説明が丁寧になされている。 ・図版が鮮明で大きく配置されるなど、迫力のあるページ構成となっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊の道徳ノートには自分の意見や話合いの内容を記入することができ、自らの成長を実感することができるよう工夫されている。 	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>新版 中学生の道徳 明日への扉</p>	<p>224</p> <p>学 研</p>
<p>内 容</p>	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳科で学ぶこと 考えること」で、生徒と共に道徳授業の流れ「考えを深める4つのステップ」を確認することができる。このステップ順に授業を進めることで、充実した対話ができるようになる。続く第1教材では、4つのステップに沿って授業を展開できる具体的な例「深めよう」を掲載しており、スムーズに授業に入ることができる。 ・教材末尾の「考えよう」「見つめよう」の問いの後に、「深めよう」の問いがあり、人間としての生き方を考えられるよう工夫されている。 ・特設ページ「クローズアップ」にて教材の内容項目に即した関連情報、多様な意見、内容項目が異なる視点からの関連情報を扱っている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルについては、発達の段階に合わせて系統的に「スマホ依存（自分自身）」「スマホを通じた対人関係（友人と）」「発信者・受信者として（社会と）」を学べるようにしている。 ・内容項目が異なる複数の教材を連続して学ぶユニット学習教材「SDGs」「多様性」「キャリア」によって、生徒が広い視野で社会を捉え、より良く生きることについて多面的多角的に考えを深める工夫がされている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮して教材を配置することで、小学校との関連や学年間での連携を意識して取り組むことができるよう工夫されている。 ・各学年で、同じ内容項目を扱う教材を複数配置し、学習を通して「生徒が自分自身の成長と向き合い、思考が深まるよう」教材の構成が工夫されている。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に適宜書き込み欄を設け、気が付いたことや考えたことを記入することを通して、思考を整理できるよう工夫されている。 ・「考えを深める4つのステップ」として問題解決的な学習の手立てを示し、生徒が考えを深める学習過程が工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やグラフから考える教材や漫画や紙芝居を活用した教材 ・イメージを広げる絵や写真が適所に掲載されており、教材の理解を助ける工夫 	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UDなど全ての人に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵についての人権的、学習効果的な配慮 ・漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明 ・教材ごとに学習指導要領の四つの視点を色わけ・マークで識別 ・目次や教材では、ユニットのテーマに色分け 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に問題解決的な授業の流れを提案し、生徒が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるよう工夫している。 ・「様々なテーマで学ぼう」、巻末に「未来への扉」、「学びの記録」「学びのメモ」を設け、生徒が自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けることができるように工夫している。 	

書名 項目	<h1>中学生の道徳</h1>	232 <input type="checkbox"/> あか <input type="checkbox"/>
内 容	<p> ＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞ ・各学年の巻頭に、道徳科で学ぶ内容を示すことで、道徳の時間は人間としてよりよく生きるために大切なことを考える時間だということを生徒が意識して授業に臨めるように配慮 ・「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」についての具体例を示して、生徒が道徳科での学びをイメージし意識して進められるように工夫 ＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞ ・持続可能な社会の発展をめぐって、さまざまな視点から生徒が考えられるような教材を配置 ・各学年の巻末に Thinking (コラム) ページを設け、教材を通して、持続可能な社会に向けての課題について考えを深められるよう工夫 ＜発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞ ・発達段階を考慮し、科学技術の発展と生命倫理との関係について考えることのできる教材。各教材の取り扱いについては、知見を得るだけでなく、それぞれの問題の解決に向けて取り組もうとする道徳的実践意欲と態度が養われるよう各教材の問いについて工夫 ・全体の構成にあたっては、「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を「重点内容項目」と設定して、全学年において3教材、3時間を配当 ＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞ ・教材によって役割演技や話し合い活動などを取り入れた「MYPLUS(マイ・プラス)」ページを設け、話すこと聞くことを通して学びを深められるように工夫 ・多様な考え方を示したり、考え方の違いをテーマにしたりすることで、意見交流が図りやすい教材を積極的に掲載 </p>	
資 料	<p> ・今まで学校現場で読み継がれてきた教材を多数掲載したり、写真やグラフなどを活用して考える教材など、多様な思考を促す教材構成となっている。 </p>	
表記・表現	<p> ・生徒の読み取りに差異が生じないよう、未習の漢字には初出のみならず、すべてにふりがなを付した。ただし、固有名詞は文章の読みやすさを考慮し、教材初出のみにふりがなを付した。 ・学習上説明を要する文言や固有名詞などに、必要に応じて脚注を付した。 </p>	
総 括	<p> ・多面的・多角的に考えられる視点を持ち、学びを広げ、深められるよう工夫されている。 ・各学年に役割演技や問題解決的な学習などができるよう工夫されている。 </p>	

書名 項目	<h1>道徳 中学校</h1>	2 3 3 日 科
内 容	<p><学習指導要領の教科の目標に関わる工夫></p> <p style="text-align: center;">※見本本がないため研究なし</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p><発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p>	
資 料		
表記・表現		
総 括		